

**特別企画 : 新型コロナウイルス感染症に対する大分県企業の意識調査****大分県企業の 52.3%が業績に「マイナスの影響」見込む****はじめに**

中国の湖北省武漢市を中心に発生し、世界的に拡大している新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響が全国的な広がりを見せている。既に大規模イベントの中止や商業施設の営業時間短縮、テレワーク・時差出勤などが各地で行われている。さらに、全国の小中学校や高校、特別支援学校に対する臨時休校の要請など、国民生活だけでなく、経済活動にも大きな影響を及ぼすと考えられる。

そこで、帝国データバンクは、新型コロナウイルス感染症に対する企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2020 年 2 月調査とともにを行った。

※調査期間は 2020 年 2 月 14 日～29 日、調査対象は大分県内 170 社で、有効回答企業数は 65 社 (回答率 38.2%)

**調査結果 (要旨)**

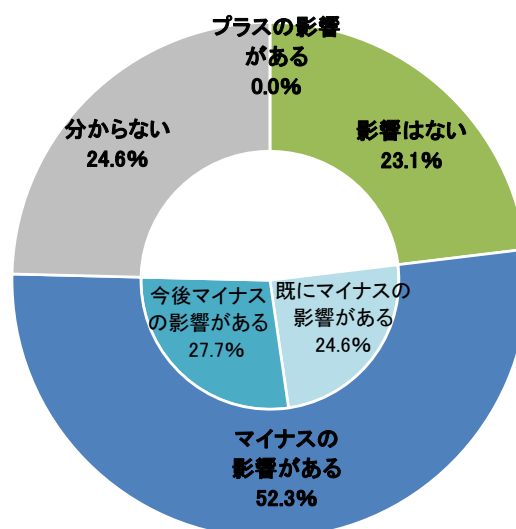
新型コロナウイルス感染症による自社の業績への影響、『マイナスの影響がある』と見込む企業は 52.3%。内訳をみると、「既にマイナスの影響がある」が 24.6%、「今後マイナスの影響がある」が 27.7%となった。「影響はない」とする企業は 23.1%だった一方で、『プラスの影響がある』(「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計) と見込む企業は 0.0%

## 5 割超の企業でマイナスの影響を見込む

新型コロナウイルス感染症により自社の業績にどのような影響があるか尋ねたところ、『マイナスの影響がある』（「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計）と見込む企業は 52.3%となった。内訳は、「既にマイナスの影響がある」が 24.6%、「今後マイナスの影響がある」が 27.7%となった。

他方、「影響はない」とする企業は 23.1%だったほか、『プラスの影響がある』（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）と見込む企業は 0.0%となった。

新型コロナウイルス感染症による業績への影響

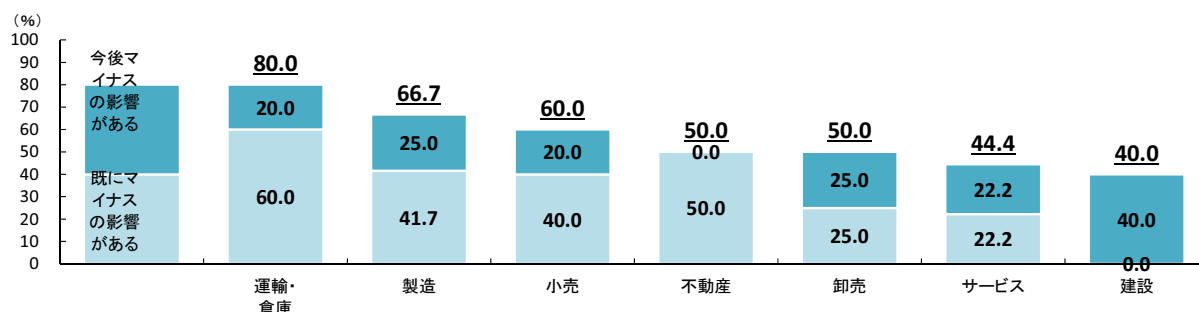


注：母数は、有効回答企業65社

『マイナスの影響がある』と見込む企業を業界別にみると、『運輸・倉庫』が 80.0%と最も高く、さらに『製造』(66.7%)、『小売』(60.0%)と続いた。

また、マイナスの影響を最も高く見込む『運輸・倉庫』では、企業の 60.0%で既にマイナスの影響がみられた。『建設』は、今後の悪影響を見込む企業が 40.0%となっており、全業界で最も先行きを懸念している様子がうかがえる。

『マイナスの影響がある』割合 ～ 業界別 ～



注1：下線の値は『マイナスの影響がある』（「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計）の割合

注2：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも一致しない

## まとめ

本調査では、5割超の企業で新型コロナウイルス感染症により業績にマイナスの影響があると見込んでいた。日々感染の拡大やヒト・モノの移動が制限されるなか、日を追うごとに、マイナスの影響を見込む割合の増加が見込まれる。また、中国からの輸出入が滞り、部材や製品などが不足する事態が起き、『運輸・倉庫』や『卸売』など幅広い業界に影響が及んでいる。とりわけ、「旅館・ホテル」においては、インバウンド需要や国内旅行の減少などにより、既にマイナスの影響が顕著に表れている。また、今後は小売を中心として、商品の未入荷の継続や消費マインドの低下などによる悪影響が見込まれている。

いち早い新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、企業には、正確な情報に基づく冷静な対応を求めつつ、政府には正確な情報提供と企業の事業継続に資する具体的な支援策の実行が必要である。

### 【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 大分支店 担当：宮崎 喜幸  
TEL 097-536-6363 FAX 097-536-1213

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。